

西蒲区大好き！

私たちの

夢

が叶いました！

大成功！灯台からの流しソーメン！

28年度事業『西蒲Theミッション～僕らが描く未来予想図Ⅰ～』で、小学生が西蒲区の魅力を探り、発信するプロジェクトとして取り組み、区自治協議会が実現したものです。



題字 小林 眞由美

[第7号]

平成29年10月15日発行

発行 西蒲区自治協議会
編集 西蒲区自治協議会広報部
事務局 西蒲区役所地域課
〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1
TEL 0256-72-8156
FAX 0256-72-6022
E-mail chiiki.nsk@city.niigata.lg.jp



新区長として、私も
しっかり見届けました。
ありがとうございます！



私たちが提案した流しソーメン
の夢が叶って最高！
たくさん食べました。
すごくおいしかったです！



角田浜の豊かな自然を多くの人から知ってもらいたいという思いから、子どもならではの視点で提案された『灯台からの流しソーメン』が、多くの人たちの協力で実現しました。区では昨年、未来を担う子どもたちに自分たちの住む地域の魅力を再発見してもらい、それらをどう発信できるか提案してもらいました。灯台から浜辺まで約40メートルを下る流しソーメンが夏の海とマッチして、角田浜は多くの人たちで賑わいました。夢を叶えるお手伝いができた自治協スタッフもほっと一息です。

西蒲区自治協議会 会長・副会長あいさつ

副会長

区自治協議会委員として今年で2期3年目、自治協の役目を自覚するようになりました。これからも暮らして良かったと思っていただけるような区づくりを行っていきたいと思っています。

子ども達が区の魅力を発見し提案する西蒲Theミッション。参加した子ども達にとって心の宝となって残るよう自治協としても関わっていきます。

今後も区自治協議会の認知度向上と、会議では身近な地域課題などを取り上げ、活発な意見交換が行える自治協を目指していきます。



川島 ユリ

副会長

素晴らしい自然、のどかな田園風景、おいしいものが沢山収穫でき、活力に満ちた快適に生活できる、そんな西蒲をみんなで創造したいと思っています。

そのためには、地域の魅力や自慢をアピールしていくなかで交流活動を盛んに進めること、また区自治協議会がコミュニティ活動の牽引の役割を果たしていく必要性を強く感じています。

皆さんと一緒に、楽しく頑張ってまいりますので、どうぞよろしくをお願いします。



永塚 均一郎

会長

このたび第6期西蒲区自治協議会の会長を務めさせていただくことになりました長井です。

区自治協議会の設置から10年という節目を迎え、これからのあり方も考えていかなければならない時期に会長となり、身の引き締まる思いです。また全国的な傾向に漏れず、西蒲区でも少子高齢化が進行するなど課題が多々ありますが、委員同士で力を合わせ、西蒲区の発展のため頑張っていきます。

区民の皆さまからのご理解とご協力をお願いします。



長井 正雄

第6期西蒲区自治協議会のスタートにあたって

西蒲区長 鈴木 浩行

今年は新潟市が政令市に移行し10年という節目の年を迎え、次の10年に向けて大きな一歩を踏み出しているところですが、全国的に人口減少、高齢化が進んでいます。この課題に対して、西蒲区自治協議会の皆さま方が積極的に解決に向けた取り組みをされており、本当に感謝申し上げます。

西蒲区としても区ビジョンまちづくり計画の実現に向け、西蒲区自治協議会の皆さまのご協力をいただきながら着実に区政運営を進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



部会紹介

保健福祉部会

保健福祉部会は健康、福祉の充実を図るほか、生活環境対策やごみの処理の分野を所管し、活動しています。

昨年度は移住モデル地区指定で注目される越前浜地区を舞台に婚活イベントを実施したほか、子育てを支援する講演会等を行いました。

今年度は更に充実した婚活イベントのほか、人口減少の原因調査を行い、解消に繋げていきます。



総務部会

昨年度は第1回角田山一周ハーフマラソン大会で西蒲区の地域を紹介するガイドブック「四季彩国」などを配布し、西蒲区のPRを行いました。

今年度は西蒲区の魅力発信のため区内の小学生から提案があった角田岬灯台からの流しソーメンを実施しました。

総務部会の担当分野は広く、防災・防犯、火災対策、教育問題、生涯学習、文化、スポーツ、地域の公共交通対策、税務など多方面に渡りますが、全員で取り組んでいきます。



広報部会

広報部会は、西蒲区自治協議会の活動・取り組みを区民の皆さまにご理解いただくため、平成26年度から「西蒲区自治協議会通信 じちきょう」を発行する活動をしています。

今年度は、じちきょう第7号（本号）と第8号を発行させていただきます。

区自治協議会の周知率の向上のため、その内容をていねいにお知らせしつつ、読んでもらえる広報紙づくりを心掛けていきます。



まちづくり・産業部会

まちづくり・産業部会は、観光や商工業、農業に関わる分野を所管するほか、都市計画、開発行為、道路整備などの建設関係、下水道などを担当しています。

昨年度は西蒲区内10ヶ所のイベントを巡ってスタンプを集めるスタンプラリーを実施し、区内の各種イベントのPRを行いました。

今年度は西蒲区の各地の魅力を写真撮影して応募いただくフォトラリーを実施し、地域の魅力を再発見していきます。



「地域とのさらなる連携を目指して」

参加者は、教育委員、公民館長、図書館長、教育行政担当者、西蒲区役所担当者の一六名と、自治協議会委員二六名の、全員で四二名でした。
子どもを育てる「※学・社・民」の融合という大きな教育テーマに対し、意見交換が活発に行われました。話し合いの要点を、次の三点でまとめてみました。

①豊かな心を育てるように取り組む

- ・岩室地域では、心の成長体験として「少年の主張発表会」に参加してもらい成果を上げている。
- ・福祉教育の一方策として、社会的弱者と言われる人から「生の声」を聴いて人の生き方を学ぶ。
- ・弱者をいじめるのは人の尊厳を傷つけること。「それぞれが違うことはスバラシイこと」と教える。

②対話から心を成長させるように取り組む

- ・「学・社・民」が立場を乗り越え、「開かれた学校」を中心に子どもの将来を思い話し合いを進める。
- ・スマホ等によるネットトラブルは少なくない。「相手と直接話すことは自分の身になる」と教える。
- ・就職しても長続きしない若者が増えている。学力も大切だが、自分の将来を切り開ける力を付ける。
- ・角田地区は、子どもの地域行事参加を図ってきた。高校生の「支えられた」という声で返ってきた。

③地域、社会教育機関と連携するよう取り組む

「公民館」各地域コミ協や地域団体と連携・協力しながら、地域活動の活性化に取り組んでいる。
「図書館」学校だけでなく諸団体に団体貸出をやっている。心を育てる情報なども提供している。

「地域教育コーディネーター」地域の方々にとくさん学校に入って、子どもに刺激を与えて欲しい。

※「学」は学校、「社」は公民館や図書館などの社会教育施設、「民」は地域住民、家庭、地域の諸団体や企業



郷土の偉人

まきりょうこ
巻菱湖の魅力伝える

9月16日(土)〜18日(月)

巻地区公民館・まき鯛車商店街交流施設「囲炉裏」・巻郷土資料館の3会場で巻地区出身の幕末の三筆の一人「巻菱湖」展が開催されました。

菱湖は1777年巻地区に生まれ、江戸で書塾を開き1万人以上の弟子がおりました。篆書・隸書・楷書・行書・草書・仮名・飛白を功妙に書くことで書家として大成しました。

3会場で、その書体を鑑賞することができ、新潟市中央区の方から「巻に素晴らしい書家がいたことを知り、実際の書を見ることができ感激しました」と感想をいただきました。開催当日は、県内各地から多数の方が訪れ、郷土の偉人を偲ぶ機会となりました。



会場 囲炉裏



会場 巻地区公民館

募集中

「四季彩国フォトラリー」

西蒲区の魅力撮影して、特産品をゲットしよう！

まちづくり・産業部会では、今年度の事業として「四季彩国フォトラリー」を実施中です。これは、区内外の皆さんから独自の視点で西蒲区の魅力を発見してもらい、区内5地区の写真を撮り、応募してもらうものです。応募者には、写真を選考、抽選のうえ、西蒲区特産品の詰め合わせを贈呈します。写真の出来不出来は関係ありません。普段、写真を撮らない方でも、ぜひ応募してください。

■フォトラリーの内容

- ①西蒲区内5地区(巻・岩室・西川・潟東・中之口)ならでの魅力を撮影(各地区1枚計5枚)
- ②撮影した写真5枚を1版でプリントして応募用紙に貼り付け。必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送(応募はお一人様1回限り。写真の返却はいたしません)
- ③各地区1名ずつ、最も地区の魅力を表現された方に「西蒲区賞」として西蒲区の特産品詰め合わせ(2万円相当)を贈呈。また、応募者の中から抽選で55名様に「フォトラリー賞」として、西蒲区の特産品詰め合わせ(1万円相当)が当たります。
※詳しくは応募用紙または西蒲区ホームページでご確認ください。



■応募用紙の入手方法

- ①市内公共施設等で配布中
- ②西蒲区ホームページからダウンロード

■応募締め切り

平成29年12月15日(金) 当日消印有効

■応募先・問合せ

四季彩国フォトラリー事務局(西蒲区役所地域課企画係)
TEL 0256-72-8156
〒953-8666 新潟市西蒲区巻甲2690-1



西蒲区の魅力発信

電動アシスト自転車

西蒲の風を感じて！

「角田山麓観光まちづくり研究会」



この会は、峰岡、松野尾、角田地区の各コミュニティ協議会と北国街道まち歩きガイドが連携して発足したもので、まもなく3年を迎えます。
角田山麓に抱かれる各コミュニティの地域は、史跡や名所などが点在し、歴史を伝える重要な遺跡の宝庫として知られています。
会では、電動自転車を活用することで、歴史と自然が同時に味わえる角田山麓の魅力を一人でも多く知ってもらいたいと、サイクリングマップを作成、取り組みに熱が入っています。

一度ペダルをこぐとその威力にビックリ！皆さんも、風を切ってどこまでも行けそうな気がしてくる爽快さを一度味わってみませんか！

※電動自転車は岩室温泉の観光施設「いわおろや」が保有する電動自転車を活用しているものです。

■問合せ

「角田山麓観光まちづくり研究会」

代表 金子 剛

☎0901199313478

【自治協委員の体験記】

古里いいとこ巡り

やりたい、行きたい、試したいと思う好奇心旺盛な私は、八月の暑い中、孫とその友達を誘って「いわむろや」へ電動自転車を借りに行きました。サイクリングマップを片手にいざ出発です。

自然が残る山里の景色の間を颯爽と走り抜けると旧庄屋の佐藤家へ到着。佐藤家を見学し、古くても大切に保護され、まだ使用されているんだと感動しました。またその後も名所の数々を巡って帰ってきました。

西蒲区も探せばまだまだ見どころがいっぱいあるんだなとつくづく実感しました。

最近涼しくなり、外へ出るにはいい季節となりましたので皆さんも一度電動自転車で角田山麓の名所巡りをお試しあれ！



西蒲TheMission

〜僕らが描く未来予想図Ⅱ〜

区内の小学五・六年生が西蒲区の魅力に触れ、魅力の活かし方を西蒲区長や区自治協議会委員などへ提案する西蒲TheMissionが昨年引き続き、今年も開催されました。

今年八月二日から同二二日までの間の五日間で「いわおろや」「北国街道」「どろんこカッブ」などを巡り、次のような提案がなされました。

★毎日、農家ごはんではiskan健康プロジェクト

★角田浜でビーチバレー大会（お昼に義経弁当）

★コース中で旬の食材を食べられるマラソン大会&写真コンテスト

西蒲区自治協議会でも今後の区づくり事業などの参考にしていきます。



●ホットコーナー

ありがたかった親切

ショーちゃん

ある日、一人で茨城までいった時のことです。カーナビを付けてもらい、地図も持って行きました。

高速道路を前橋から北関東自動車道に入りました。カーナビが時々おかしくなり、久喜あたりで全く効をなさなくなりました。地図によると古道をいかなければ近道にならないのです。「私、つくばに行きたいのですが」「サー、ある事務所に入っている」「私、つくばに行きたいのですが、ナビも地図も役に立たないのです」というと、男の方は地図をコピーして、「この信号左、二つ次の信号右」と印をつけて、「圏央道に乗ると近いよ」と教えて下さり、「ナビも地図も私みたいな年を取ると使い物にならないのさ」と笑っていました。つくばに着いて目的地を女の人も聞きました。スマートフォンで説明して下さいました。

知らない土地で泣きそうになっていた私の心がホットとした瞬間でした。時や町はどんどん新しく変わってゆくものです。今回はいい勉強になりました。

募集します

●ホットコーナーと「皆さまの声」

◆詩、川柳、お子さまやペットの写真など、自分が「ホット」とするものを、タイトルや一言コメントを添えて投稿してください。

◆また、地域に関する課題などで、区自治協議会で協議してもらいたいことがありましたらご意見をお寄せください。

◆いずれも事務局（広報紙第一面に掲載）まで、住所・氏名（ペンネームがあればペンネーム掲載）・連絡先をお書き添えの上、郵送または電子メールにてお送りください。

編集後記

今年度最初の「じちきょう」は、第一面を「角田岬灯台からの流しソーメン」で飾りました。約四〇メートルの高さからうまく流れて、Mission参加の小学生チーム提案の夢を叶えることが出来ました。

この四月から、第六期西蒲区自治協議会がスタートし、広報部会も半数が新メンバーとなりました。新しい感覚を盛り込んで、今後とも読んでもらえる充実した紙面を心がけ、部員一同取り組んでいきたいと思っております。

ご意見、ご提案を含めて、多くの皆さまからの後押しをお願いいたします。